

区分	意見・提案概要		検討委員会 の 整理				
			実施時期			理 由	
			短期 (試行)	中期	長期		
基本的事項	1	ファンの意見(生の声)を聴く機会をつくる	○			① ファンの声を聞くため、提案箱を設置し、その対応を場内に掲示している。また、ホームページでも、随時、提案をもらえる形をとっている。 ② 毎年、入場者へのアンケートを行っているが、その内容や方法について、今後とも検討していくべきである。 ③ 本検討委員会の取りまとめにあたっては、パブリックコメントを実施すること。	
	2	開催曜日、開催回数の検討	○			① 開催曜日については、ファンへの周知性を高めることや収益性を考慮し、固定する形で検討すべきである。 ② 開催回数については、17年度の状況も踏まえながら、更に検討すること。	
	3	臨時、嘱託等の採用による正規職員の減(人件費率を下げることの検討)	○			人員の効果的・効率的配置と人件費の縮減に努めること。	
	4	委託方法、委託料の検討	○			既定の概念にとらわれず、委託方法等について、さらに検討すること。	
	5	場間場外発売(本場非開催日)における収支バランス(1日単位)の検証	○			現在、場間場外は全て黒字となっているが、さらに有利な相手先との連携に努めること。	
	6	社会の経済動向(景気、GDPなど)と売得額との経時変化の整理(今後の景気変動の予測により、売得額を把握するため)	○			社会経済動向との関係を把握するため、経済指標を活用したトレンド分析を行うこと。	
振興策	1	場外発売所(専用場外、共同場外、ミニ場外)の設置(宝くじ感覚、JRA・車券・舟券の併売、県・市の施設内も視野に入れて)		○		地元の合意形成が必要ではあるが、まず、収益向上に結びつくかの十分な検討が必要である。	
	2	ナイター競馬の開催(事例調査、実績など)		○		ナイター競馬を開催するためには、照明装置の新設、受電設備の改修、自家発電設備の新設などに15億円程度は必要というこれまでの試算もあるが、設備やコスト面の工夫、また、その財源や維持費を含めた採算性も考慮しながら、十分な検討が必要である。	
	3	馬場の改修(アップダウンのあるコース)			○	変化のある馬場に改修するには、改修費用に加え、高低差や設定距離といった物理的な可否など、十分な検討が必要である。	
	4	馬場の改修(コースの芝生化)			○	芝生化に伴う馬場の形状の変更も含めた整備費及び維持費が高額になると考えられることから、十分な検討が必要である。	
	5	馬場の半ドーム化(冬期の競馬開催長期計画)			○	整備費や開催計画等を含め、長期的な視点から、十分な検討が必要である。	
	6	初心者専用窓口の設置(案内窓口、説明ガイドによる購入方法のレクチャー等)	○			① 初心者向けに、競馬体験教室を年10回程度開催している。 ② 現在、案内窓口で各種のPRを行っているが、今後、より効果的な方法を検討すべきである。	
	7	初心者用に出走馬データを簡単に検索できるシステムの導入(馬券購入方法も併せて説明)	○			① インターネット上では、必要な情報を観ることが出来ることとなっている。 ② 競馬場内に初心者向けの検索用機器を設置するといったことについて、検討すべきである。	
	8	出走馬の情報やオッズが好きなときに見ることができるシステムの導入(携帯電話、ノートパソコン、貸出用モバイル等)	○			① インターネット上では、必要な情報を観ることが出来るようになっている。 ② 携帯電話については、既にオッズ等を見ることが出来るコンテンツ(有料)がある。	
	9	入場券のプリペイドカード化、回数券化	○			気軽に来場する方策として有効と考えられるが、整備にかかる費用対効果や入場料のあり方も含めた検討が必要である。なお、経費負担の少ない「回数券」の導入等も検討すべきである。	
	10	発売窓口の充実・迅速化(自動機の増、芝生広場への設置、払戻専用機の設置等)		○		発売窓口の一層の効率的な配置、自動機の増設にかかる費用等(増設に伴う人件費の削減効果との対比を含む)について、十分な検討が必要である。	
	11	馬券購入・払戻等に対するICカード化(パチンコの預球方式)		○		ファンの利便性向上には、有効と考えられるが、ファンのニーズや導入にかかる費用対効果について検討が必要である。	
	12	各席で投票することができるシステムの導入(特別観覧席等)		○			

※ 作業部会での整理にあたっては、「主催者の裁量度合い」、「経費」、「実施効果」を視点に具現性を検証し、実施時期をとりまとめた。

区分	意見・提案概要	検討委員会 の 整理				
		実施時期			理由	
		短期 (試行)	中期	長期		
振 興 策	13	タッチパネルやビデオ方式で出走馬や騎手の紹介が気軽に見ることができる機器の設置		○		ファンサービスの一環として、騎手等を紹介することは重要であるが、紹介方法については、費用対効果について、十分な検討が必要である。
	14	有料オッズプリンターの設置		○		ファンサービスの向上に有効であると考えられるが、他場での利用状況やファンのニーズを十分に踏まえた上での検討が必要である。
	15	下見所に電光掲示板を設置		○		人件費の削減も含めた費用対効果について、十分な検討が必要である。
	16	売場、観覧席(ペア席、ファミリー席等)の改修	○			売場や観覧席を、女性客や家族連れが利用しやすいように改修することは、新規ファン獲得に効果があると考えられる。
	17	シルバー席、シニアサロンの設置		○		平成17年5月に畳席を設置しているが、その利用効果等を踏まえた上での検討が必要である。
	18	全席に机を設置		○		マークシートの記入機や窓口周辺の混雑解消、利便性の向上に効果があると考えられるが、費用対効果について、十分な検討が必要である。
	19	年間指定席の設置		○		個人や企業等に対する年間を通した指定席の必要性については、駿(ゲン)を担ぐ競馬ファンもいることから、ファンのニーズを十分に踏まえた上での検討が必要である。
	20	馬主席の利活用(開放、廃止なども含めた見直し)		○		馬主など関係者の意見を十分に聴きながら、活用方法等について、十分な検討が必要である。
	21	ミニ特別観覧席の設置(未使用部分の活用)			○	今のところ観覧席は充足していると考えられるが、未使用部分の有効活用については、十分な検討が必要である。
	22	全観客席の特別観覧席(有料)化			○	全観客席を有料化することは、入場料の二重徴収にもなりかねないことから、入場料のあり方や新たなファンサービスの付加等を含めて、十分な検討が必要である。
	23	スタンド棟内における喫煙場所の限定 (基本的には全面禁煙:3F観覧席と同様に)	○			① 分煙については、現在、一部進められているが、さらに、利用者の理解を得ながら拡大を検討すべきである。 ② 期間限定の試験的な「分煙キャンペーン」などにも努めること。
	24	イメージアップのためのトイレ、壁、床等の改修 (明るくて健全なイメージ、現代的で清潔感のある雰囲気)	○			売場や観覧席を、女性客や家族連れが利用しやすいように改修することは、新規ファン獲得に効果があると考えられる。
	25	悪天候対策 (1階馬場側出入り口の戸、暖房設備の設置)	○			外部への避難口であり、有効開口面積の確保等、関係法の基準を満たすための改修が必要となるおそれもあり、十分な検討が必要である。
	26	入場門の改修	○			金沢競馬場のイメージアップという点からも有効であるが、全体的な改修計画の中での検討が必要である。
	27	急な段差の解消、身体障害者が特別観覧席まで入れるコース設営		○		競馬ファンが高齢化している現状を踏まえると、バリアフリー化は必要ではあるが、関係法の基準を満たすための大規模な改修が建物全体において必要となるおそれもあり、費用も含めてどのような手法が有効であるか、十分な検討が必要である。
	28	エスカレータの設置(高齢者対策)			○	設置費(約2億5千万円)に加え、関係法の基準を満たすための大規模な改修が建物全体において必要となることから、費用対効果について、十分な検討が必要である。
29	2階席の改修(全面ガラス張り)			○	大規模な改修については、関係法の基準を満たすための大規模な改修が建物全体において必要となるおそれもあり、費用対効果について、十分な検討が必要である。	
30	ATM(現金自動預け払い機)の設置		○		来場者の利便性の向上に有効であると考えられるが、警備上の問題等、十分な検討が必要である。	
31	コンビニエンスストアの設置		○		民間事業者の誘致や設置場所の確保、既存事業者との競合といった課題があり、十分な検討が必要である。	
32	お洒落な飲食店、ファーストフード店の出店 (若年層対策)		○			

※ 作業部会での整理にあたっては、「主催者の裁量度合い」、「経費」、「実施効果」を視点に具現性を検証し、実施時期をとりまとめた。

区分	意見・提案概要	検討委員会 の 整理				
		実施時期			理	由
		短期 (試行)	中期	長期		
振 興 策	33	レース観戦(馬券購入)できるレストランの設置			○	民間事業者の誘致や設置場所の確保、既存事業者の取り扱いや採算面といった課題があり、十分な検討が必要である。
	34	保育室の設置 (女性ファンのために)	○			保育士の確保や経費負担の面で調整が図られれば試行を含めた対応に努めること。
	35	競馬に関する資料館、ミュージアムショップの設置		○		ファンの競馬に対する関心や知識を深めることに有効であると考えられるが、教育・文化施策という観点からの検討が必要である。
	36	ゲームセンターの設置 (子供連れや若者向けに1日中遊べる施設)		○		民間事業者の誘致や設置場所の確保、採算面といった課題があり、十分な検討が必要である。
	37	芝生広場の利活用 (遊園地の改修、テニスコート等の設置、屋根付きスペースの確保 等)		○		多様なファン層に来場を促すという面である程度の効果があると思われるが、経費の問題や競馬開催時の支障面、売得額向上に繋がるかということについて、十分な検討が必要である。
	38	スケート場の設置(未使用部分の活用)			○	設置費用に加え、リンクの維持費などが必要であり、費用対効果や採算面について、十分な検討が必要である。
	39	競馬場近隣への大型集客施設(スーパー、家電店、ゲームセンター等)誘致等の周辺環境の整備		○		競馬ファンの獲得といったことだけで論じるような話ではなく、誘致する企業、立地条件、採算性の確保といった大きな課題がある。
	40	IT関連企業との連携等による馬券の発売促進	○			全国的な取り組みとして、他の地方競馬と共に、インターネット投票に関する連携をすることとなったが、今後さらなる連携に努めること。
	41	インターネット(ホームページ)による馬券発売、ライブ中継(観戦)	○			平成17年5月より、ホームページにおいてライブ映像の配信を行っている。また、馬券発売(D-net)についても、これまで以上に使い勝手の良い新システム(ネットバンク投票)が同年10月より稼働した。
	42	賭式の単純化(お金の回転を生むように)		○		① 平成15年より、3連勝式を導入し、昨年度の売上げの約3割を占めている状況であり、今後ともファンのニーズに合わせた対応が必要である。 ② 広域場間場外発売における他場のニーズも考慮すべきであり、調整が必要。
	43	JRA(中央競馬)の馬券発売		○		競馬法の改正により、中央競馬との間で相互に販売を受委託できるようになったが、地方競馬側にとって収益面でのメリットが薄いことや、ファンの馬券購入資金が、中央競馬に流れるといった懸念材料が考えられることから、十分な検討が必要である。
	44	力の均衡したレースや短距離レースの実施	○			これまでも格付け方法の変更や距離の多様化等により魅力あるレースの提供に努めているが、今後、力の均衡した馬によるレースや短距離レースなど、更に工夫を凝らすこと。
	45	ドリームレースの実施 (ファン投票により、出走馬、騎乗騎手を選抜)		○		ファンの要望するレースを実施することは大切であるが、出走ローテーションの問題や力の均衡した魅力あるレースと成りうるかといった面からの検討が必要である。
	46	賞金、出走手当の引き上げ		○		① 毎年、減収傾向となっている現況下においては、難しい。 ② しかし、最終的にファンや収入の増につながることであれば、経費増の対応も含め、関係者と十分に調整していく必要がある。
	47	重賞レースの増		○		経費の圧縮という観点から順次減らしてきたという経緯があり、現状では、増加させることは難しい。
48	JBC競走(ジャパンフリーダースカップ)の誘致		○		多くの競馬ファンを取り込む大きなイベントであるが、これまでに実施した他主催者における収支状況(誘致に必要な施設整備を含む)等も踏まえ、十分な検討が必要である。	
49	他場で実施するナイトレースの場外発売増		○		ファンの資金の流出、本場売得への影響等について、十分な検討が必要である。	
50	野外彫刻展の実施 (金沢美大等との連携)	○			競馬場への誘客効果があると考えられ、新たな競馬ファンを開拓するためにも、関係機関(金沢美大等)に働きかけること。	

※ 作業部会での整理にあたっては、「主催者の裁量度合い」、「経費」、「実施効果」を視点に具現性を検証し、実施時期をとりまとめた。

区分	意見・提案概要		検討委員会 の 整理				
			実施時期			理由	
			短期 (試行)	中期	長期		
振 興 策	51	各種催事を折り込んだ競馬まつりの開催 (騎手サイン会、野菜市、馬とのふれあい体験、 フリーマーケット、巨大迷路、花火大会など)	○			現在、フリーマーケットや野菜販売等を随時開催しているが、今後とも各方面からの提案等も得ながら、更に工夫すること。	
	52	子供たちの遠足への活用	○			馬場中央部の遊び場や芝生広場の利用については、現在、一般県民に無料解放しており、利用について広くアピールすること。	
	53	民間企業の懇親会、グランドゴルフ等への活用		○		スポーツやパークビュー広場としての利用については、施設整備費用や競馬開催時の支障などについて、十分な検討が必要である。	
	54	コンサートへの活用 (全国区のタレント、地元大学のバンド等)		○		過去に実施例もあり、一定の誘客効果はあると考えられるが、競馬への支障の有無や費用対効果等について、検討が必要である。	
	55	地元特産品や人気商品の限定発売 (競馬以外の要素の追加)		○		競馬場内での地元特産品などの販売については、事業者の誘致や出店スペースの確保、既存事業者との調整など、十分な検討が必要である。	
	56	イベント参加団体に無料送迎サービスを実施		○		各種イベントの企画、開催の検討とあわせた対応が必要であるが、費用対効果について、十分な検討が必要である。	
	57	結婚披露宴、各種パーティーの実施			○	競馬場の有効活用策としては、有効な手段と考えられるが、利用頻度など採算性や施設、飲食部門の整備など、十分な検討が必要である。	
	58	常連客や高額の中者に称号(先生・博士)授与	○			称号の授与に留まらず、授与者の活用などについて検討すること。 (授与者が講師となる馬券購入セミナーの開催等)	
	59	ポイントカードの発行等によるサービス化、特典化 (入場、馬券購入の回数や金額によりポイントを貯め、景品がもらえる)	○			すでに、ハッピーポイントカードを発行し、景品の交換を行っており、今後、更なる工夫を検討すること。	
	60	外れ馬券を再利用した抽選会への応募 (後日、当選者を掲示発表することにより再来場を促す)	○			一部実施済みであるが、さらに工夫すること。	
	61	場内広場への出店者募集:冠レースと同様な扱い (屋台、ワゴン売り店等)	○			現在、フリーマーケットや野菜販売等を随時開催しているが、今後とも各種イベントと併せて、各方面からの提案等も得ながら、更に工夫すること。	
	62	ファン参加型の競馬運営 (裏方部分の公開、1日開催執務委員長)	○			競馬ファンを大切にすることは有効な方策と考えられるが、競馬の公正確保という面での問題点などについて、十分な検討を行うこと。	
	63	金沢競馬サポーターズクラブ(仮称)の結成 (「ハッピーくん通信」とは別に、金沢競馬を応援する会員組織を結成 ・クラブ会員には、「ハッピーくん通信」と同様な情報、入場料の無料化 等のサービスを提供)		○		現在、金沢競馬には、優駿ファンクラブ、レディスクラブ等があるが、どのようなサービスを提供するか等、組織の充実についても検討が必要である。	
	64	一定枚数の外れ馬券(マイルージ方式)で景品交換		○		景品表示法との関係もあり、実施方法について、十分な検討が必要である。 (ハッピーポイントカードと連携した方式等)	
	65	競馬とのふれあいの増 (非開催日の厩舎、調教見学等)		○		厩舎見学や競走馬の調教見学などは、競馬ファンのすそ野を広げる上で効果があるとは考えられるが、競馬の公正確保という面での問題点などについて、十分な検討が必要である。	
	66	ハルウララの全国キャラバン誘致		○		全国的な人気競走馬、騎手の誘致によって、一定の集客効果があると考えられるが、所属先の意向を踏まえながら、広報も含めた誘致方法について、十分な検討が必要である。	
67	職員の個人車両に競馬ポスター(ステッカー)の貼付	○			幅広く広報、周知するためには、有効な手段であることから、職員の個人車両に限定せず、広くPRするためのステッカー等を作成、配付(販売も含む)することも検討すること。		
68	金沢競馬インフォメーションとしての文化施設等における掲示等	○			効果的、効率的な方法について、検討すること。		
69	ネットバンク投票、インターネット投票などのPR	○			各種広報等を行っているが、更に効果的な周知方法等の工夫に努めること。		

※ 作業部会での整理にあたっては、「主催者の裁量度合い」、「経費」、「実施効果」を視点に具現性を検証し、実施時期をとりまとめた。

区分	意見・提案概要	検討委員会 の 整理				
		実施時期			理	由
		短期 (試行)	中期	長期		
振 興 策	70 競馬のイメージを改善するPR方法 (100円でも30分(レース間隔)楽しめる手軽さ サラブレッド=芸術品(美しさ、躍動感)を強調 収益の仕組みをわかりやすく説明(ギャンブルイメージの払拭))	○			広報媒体、方法等について、工夫に努めること。	
	71 金沢競馬場のネーミング、ロゴマークの周知 (あることを知らない人が大勢いると思うので広報活動をもっとすればどうか)	○			更なる周知に努めること。	
	72 新聞(地方紙、全国紙、スポーツ紙)、テレビ(CF作成のうえ放映)、パソコン等による広告宣伝	○			効果的、効率的な方法について、工夫・検討すること。	
	73 タウン情報誌や情報番組での金沢競馬の紹介 (施設、馬の紹介や競馬体験レポート)	○				
	74 各種イベントへの積極参加 (犀川まつり、歩行者天国等)		○		金沢競馬を県民にアピールする方法としては、非常に効果があると考えられるが、各種イベントが競馬開催日と重複していることから、参加方法等について、十分な検討が必要である。	
	75 インターネット(ホームページ)の海外向け発信(外国語版)		○		インターネットに限らず、海外観光客を取り込む方を様々な視点から検討することが重要である。	
	76 ホースピアレディの復活・充実		○		過去に経費削減といった理由で廃止した経緯もあり、サービスの内容や費用対効果について、十分な検討が必要である。	
	77 県庁、金沢駅、能登空港等へのレース映像の発信		○		関係機関と協議を行い、効果的・効率的な方法について検討すべきである。	
	78 観光客、観光会社へのPR (温泉等の観光コースとのセット)		○		効果的な方法等について、観光会社等の意見も聴きながら、十分に検討する必要がある。	
	79 観光コースへの取り込み		○			
	80 場内における酒類販売の適否	○			① ファンの要望により、平成15年8月からビールに限り販売を許可してきた。 ② 酒類の販売適否の検討の一方、これまでのところ大きなトラブルは発生していないことから、今後、種類の拡大等の是非についても併せて検討すること。	
	81 映像、音楽を若者向けに変更		○		どのような映像、音楽が多様な世代に受け入れられ、レースを盛り上げることが出来るか、十分な検討が必要である。	
	82 ガードマン、清掃員等の制服を遊び心のある洒落たものに変更		○		民間業者に業務を委託していることもあり、民間業者等の意見を聴きながら、十分に検討する必要がある。	
	83 金沢駅からの乗合タクシー制度、タクシー及び乗合バスの定額化			○	来場者の多数が自家用車の利用であり、ファン無料送迎バスの利用者が減少傾向にあるなかで、乗合制度の需要調査やタクシー会社等との十分な協議が必要である。	
	84 馬主の所得制限(500万円以上)の緩和		○		① 所得制限は、競走馬を継続的に預託することが必要なために設けられている制度である。 ② 当該制度は、地方競馬全体に共通したことであり、今後、関係機関との協議が必要である。	
85 ギャンブル特区への働きかけ		○		愛知県においてミニ専用場外の設置に関する特区申請をしており、金沢競馬においても収益向上に繋がる方策の検討、働きかけが必要である。		
経 営 改 善 策	1 民間委託の促進による経費削減	○			競馬法改正に伴い、各種業務の委託が可能(規制緩和)となったことを受け、民間活力を導入することによる運営手法の改善、業務の効率化が期待でき、導入に向けて検討を進めること。	
	2 ファン無料送迎バスの効率的な運行ルート(シャトル化も含む)の検討	○			毎年、見直しを行っているが、運行ルートの効率化、有料化や廃止も含め、これらは経費を削減する上で有効な手段の一つと考えられるが、ファンの足が遠のくことや売得額の減となりかねないことから、十分な検討を行うとともに、ファンの理解を得ることが必要である。	
	3 ファン無料送迎バスの廃止又は有料化		○			
	4 入場者のマナー向上(清掃にかかるコスト削減)	○			ファンの理解を得ながら、効果的なPR方法(PRポスターや場内放送等)について工夫・検討すること。	

※ 作業部会での整理にあたっては、「主催者の裁量度合い」、「経費」、「実施効果」を視点に具現性を検証し、実施時期をとりまとめた。

区分	意見・提案概要	検討委員会 の 整理				
		実施時期			理由	
		短期 (試行)	中期	長期		
経営改善策	5	各種負担金・補助金の削減・廃止		○		関係団体の運営状況や削減・廃止による影響について、十分な検討が必要である。
	6	清掃員や馬券売りのボランティア募集		○		経費の削減やファンが競馬業務を肌で感じるという面では有効な方策と考えられるが、競馬の公正確保という面での問題点などについて、十分な検討が必要である。
	7	入場料金(100円)、特別観覧席(1,000円)の見直し	○			① イベント等と併せて、入場無料の日も設定している。 ② 特別観覧席の料金の取り扱いについて、今後、工夫・検討すること。
	8	冠レースの料金の体系化	○			宣伝効果も考え、法人(企業)の料金改定について、検討すべきである。 また、申込者への特典を充実させること等により、活用の促進に努めること。
	9	場内の施設貸付けによる収入確保(馬場内重賞看板等)		○		地方公共団体が所有する財産の貸付については、各種の制約があり難しいと考えられるが、可能な方法がないか、十分に検討する必要がある。
	10	企業とのスポンサー契約(勝負服、大画面にCM)		○		地方公共団体が、民間企業とスポンサー契約を締結し、資金提供を受けることについては、各種制約があり難しいと考えられるが、可能な方法がないか、十分に検討する必要がある。
	11	手荷物預りの有料化 (人件費との均衡、ロッカー化)		○		① 手荷物預りは、1階、案内所でのファンサービス(無料)の一環として行っており、サービスの低下とならないような配慮が必要である。 ② 現在、特別観覧席にロッカーを設置しているが、一般の観覧席においても、ファンの要望等があれば設置についての検討が必要である。
	12	野外コンサート等のイベント開催に転用 (使用料収入の確保)		○		非開催日であっても、馬への刺激を与えないという条件の中で、どのようなイベントであれば可能なかの検討が必要である。
	13	場内における農産物、海産物、その他商品販売による収益		○		① 現在、誘客の一環として、地元業者等に物販場所を提供している。 ② 金沢競馬場が直接販売を行って収益を確保しようとする場合、地方公共団体としてどのような手法があるのかなど、十分な検討が必要である。
	14	駐車場の有料化		○		収入を確保する上で有効な手段の一つと考えられるが、ファンの足が遠のくことや売得額の減となりかねないことから、十分な検討を行うとともに、ファンの理解を得ることが必要である。また、利用率の低い駐車場(借地)の返還についても検討が必要である。
	15	きゅう舎、宿舍の家賃等、場内店舗の賃料の見直し			○	建築後、相当の年数が経過しているものの、維持補修等に多額の経費を要していることから、現状での料金改定(引き上げ、引き下げのいずれも)には慎重を期すべきである。
	16	競馬場改革〇年計画等を立てる。 (関係諸団体間での情報共有、十分な協議)	○			① 本検討委員会で振興策や経営改善策について検討中であり、その検討結果を踏まえて速やかに実施すべきである。 ② これまでも、関係諸団体とは金沢競馬連絡協議会を設けて協議し、情報を共有しており、今後も継続して実施すべきである。
	17	小さな改善・コスト削減の積み重ねだけでなく、大胆な増収策を打ち出せるかがポイント	○			現状でのコスト削減には限界があり、国や他の主催者、関係者とも十分な協議・調整を図ること。
	18	第三者による経営診断の実施	○			本検討委員会においても、様々な角度から検討を行うこととしているが、更に経営専門機関よりアドバイス等を得ることも有効である。
19	パチンコ等と比較して、競馬そのものの魅力、おもしろさを広く掘り起こす。 (競艇の集客力に比較して、競馬が劣後する理由の究明)	○			これまでも、理由の究明に努めているが、明確な理由を見いだすには至っていないのが現状であり、更に検討すべきである。	
その他	1	他主催者との相互協力の強化(ブロック化の促進)		○		① これまでも、場間場外発売等で相互協力をしている。 ② 北陸・東海・近畿地区ブロック化推進研究会において、競馬場の立地的要素を含めて、ブロック化に伴うメリット・デメリットについて検討しており、今後も継続した検討が必要である。
	2	きゅう務員等の生活を保障することを考えるべきではないか。 (生き甲斐のある職場作り)		○		① 基本的には主催者が保障するという制度はない。 ② しかしながら、競馬開催に欠くことができない関係者に対しては、売上げが減少傾向にある中で、どのような形で対応が可能か十分な検討が必要である。

※ 作業部会での整理にあたっては、「主催者の裁量度合い」、「経費」、「実施効果」を視点に具現性を検証し、実施時期をとりまとめた。